

令和4年度 北区の具体的な交通施策の進捗状況

基本方針と施策	具体的な取り組み	内容	指標	取り組み状況 (令和4年度)	詳細	評価及び今後の課題
基本方針① 公共交通を利用しにくい地域への対策を検討します						
公共交通を利用しにくい地域における、利用ニーズの調査と分析を行い、各種社会実験の是非を検討します	○区内各地区の利用ニーズ調査と分析	区内の利用ニーズを踏まえたうえで、住民組織が主体となって運行する住民バスの助言や支援、必要に応じて社会実験を行います	利用ニーズを踏まえた社会実験の検討(随時)	0件	住民バスの運行を希望する新規団体はなく、相談およびニーズ調査は行っていません。	区内の高齢化が進み、公共交通の利用ニーズは年々高まっている。各地区の声に耳を傾けながら、住民バスを運行する住民組織の立ち上げに関する相談があった際には積極的に支援していく。
	○利用ニーズを踏まえた各種社会実験の検討			2件	社会実験として運行している岡方・長浦のデマンド交通について、各地区の実情に即した運行体系を確立するため、岡方地区では令和4年度も引き続き社会実験として運行することとし、長浦地区では新たな交通システムとしてエリアバス×タクの導入を行った。	岡方地区では、現在の運賃体系(一人乗車1,000円、複数乗車300円/一人)は、複数乗車の方が総収受運賃が少なくなるなどの課題が残っている。長浦地区においては、令和3年度末にコミュニティバスが廃止されたことに伴い、光晴中学校の冬期通学手段を確保する必要性が生じた。令和4年10月から地域内の移動を確保することを目的に、新たな交通システムとしてエリアバス×タクの導入を行った。
目的バスと連携し、多様な移動需要に対応します	○連携病院との定期的な情報共有と新たな連携策の検討	連携病院と情報共有の機会を設け、新たな連携策の検討を行います	連携病院との打ち合わせ(1回/年)	各1回	令和5年3月に実施	連携病院(豊栄病院・新潟リハビリテーション病院)の目的バスは、地域の交通として重要な役割を果たしている。連携病院との情報共有を行い、区バス・住民バス及び目的バスの利便性向上につなげていく。
	○区公共交通時刻表への相互接続情報の掲載	目的バスと区公共交通のダイヤ調整を行い、時刻表に相互接続の情報を掲載します	掲載可能な目的バス運行事業者(2者)	2事業者	豊栄病院 新潟リハビリテーション病院	住民バスと両病院との接続情報を時刻表に掲載した。今後も両病院と情報共有を行い、継続して掲載していくことで利便性の向上を図る。

令和4年度 北区の具体的な交通施策の進捗状況

基本方針と施策	具体的な取り組み	内容	指標	取り組み状況 (令和4年度)	詳細	評価及び今後の課題
基本方針② 既存の公共交通網を活かし、わかりやすく、使いやすくします						
ア 区バス・住民バスの利用実績の調査と分析を行い、実情に即した運行計画とします	○区バス・住民バスの利用実績の調査と分析	現行の区バス・住民バスを生活交通としてさらに使いやすくするため、運行内容等について継続して見直します	区バス・住民バスの利用実績調査・分析（毎月）	12回	各月毎の利用者数を確認するとともに前年度比較を行った。また、停留所ごとの利用者数を分析し、運行計画の見直しにつなげた。	<p>【区バス】 新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ利用状況は回復の兆しがみられるものの、未だ低水準で推移している。新規利用者の獲得が難しく、収支率は低下傾向にある。高齢者の利用や通勤・通学に対するニーズを的確にとらえ、運行改定等を通して利便性を向上させていく。</p> <p>【住民バス】 新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ利用状況は回復しつつあり、過去の収支率より増加傾向にある。引き続き、高齢者の利用や通勤・通学に対するニーズを的確にとらえ、運行改定等を通して利便性を向上させていく。</p>
	○区バス・住民バスの運行計画見直し		実態を踏まえたうえでの運行改定（随時）	1件	【区バス】 運行ルートの見直し	<p>【区バス】 令和3年度の運行実績をもとに、乗降者数が少ないルートを廃止することで運行の効率化を図った。</p> <p>今後も運行の効率化を図り、持続可能な公共交通の実現に取り組む。</p>
イ 「わかりやすく、見やすく」を目指し、区公共交通についての情報発信を行います	○区公共交通時刻表及び新規利用者向け乗り案内の発行	公共交通の利用促進に向け、広報を行うとともに案内標示などを維持管理します	時刻表及び乗り案内発行（1回/年）	1回	令和4年4月に時刻表・利用案内を発行。区バス・おらっぺのバスの沿線に住んでいる世帯に配布した。	時刻表には、JRや豊栄病院、新潟リハビリテーション病院との乗り換え接続の情報を掲載するなど、より利用してもらえるよう工夫した。
	○各種広報媒体（区だより・ホームページ等）による定期的情報発信		区役所だより等へPR記事掲載（5回/年）	6回	区役所だより 4月17日号1面 8月7日号2面 11月6日号2面 11月20日号2面 1月15日号2面 3月19日号3面	4月17日号1面では、紙面全体を使い区バス・住民バスの使い方を紹介した。実際の利用例を紹介するなど、利用促進に努めた。8月7日号では子どもワンコインバス、11月6日号では「にいがたバス乗換案内サイト」を周知した。今後も引き続き、区だよりやホームページなどを活用し、区の公共交通の利用促進に向けて取り組む。
	○豊栄駅・新崎駅案内看板、連携病院案内ラックの維持管理		案内看板、案内ラックの維持管理（随時）	3回 (案内チラシの補充)	案内看板で修繕が必要な物はなかった。案内ラックは、利用案内がなくなるたびに補充した。	豊栄駅・新崎駅、連携病院の案内看板・案内ラックは、区バス・住民バスを利用する人との接点として非常に有効である。これらの設備を有効活用し、区の公共交通の情報をわかりやすく発信していく。

令和4年度 北区の具体的な交通施策の進捗状況

基本方針と施策	具体的な取り組み	内容	指標	取り組み状況 (令和4年度)	詳細	評価及び今後の課題
基本方針③ 持続可能な公共交通を地域とともに考えます						
住民バス団体等 や地域コミュニティと持続可能な公共交通を検討します	○住民バス団体等との意見交換、情報共有の継続と協働の推進	既存の公共交通を持続可能な運行としていくため、住民バス団体等と意見交換、情報共有を図ります	区バス運行事業者、住民バス団体との意見交換 (2回/年)	2回 (区バス1回、おらつてのバス1回)	令和3年度の運行実績について、各運行事業者、住民バス団体と情報共有を図った。また、おらつてのバスについては令和5年度の運行改定について協議した。	公共交通の効率的な運行と利便性の向上に向けて、今後も運行事業者・住民バス団体と意見交換、情報共有を図っていく。
	○地域コミュニティとの意見交換、情報共有	通勤や通学、通院や買い物等、地域住民の必要最低限の生活交通網の確保のため、各地域の実情を踏まえつつ、住民組織が主体となって運行する住民バス団体の立ち上げを支援します	地域コミュニティとの意見交換 (随時)	3回	長浦コミュニティ委員会と地域の公共交通に係る意見交換会を実施 (4月、6月) 岡方地区コミュニティ委員会とデマンド交通に係る意見交換会を実施 (7月)	各地域の生活交通に対するニーズは年々変化している。今後も、地域の意見に耳を傾けながら、より利用しやすい公共交通となるよう取り組む。
	○住民バス団体の立ち上げ支援	新規住民バス団体の立ち上げ支援 (随時)	1件	新規で住民バスを立ち上げたいという要望はなかったが、太田地域で高齢者等の移動外出手段を考える検討委員会が設置され、会議に参加した (3回)。	自家用車に頼らなければ移動・外出しにくい地域である太田地域で、高齢者等の移動手段を考える検討委員会が設置され、その支援のために連携し取り組んでいる。移動手段を確立するため、引き続き支援していく。	
区内交通関係者と情報共有及び意見交換を実施します	○北区地域公共交通検討会議の定期的な開催、区生活交通改善プランの進捗確認	持続可能な北区の公共交通網の形成に向け、市民や公共交通関係者との協働により検討を行う場として、各種会議を開催します	会議開催 (1回/年)	1回	令和4年3月に書面開催 (令和2年度に策定した北区生活交通改善プランの延長を報告)	北区生活交通改善プランについて、令和4年度は計画通りに進捗している。同プランの目的である「地域の実情に即した、誰もがわかりやすく、利用しやすい持続可能な公共交通ネットワークの形成」に向けて、今後も取り組む。
	○北区地域公共交通に関する意見交換会の実施		会議開催 (運行改定時)	1回	令和5年4月のおらつてのバス運行改定 (利用が見込まれる18時台に復路7便を増便) に向けて、令和4年12月に「北区地域公共交通に関する意見交換会」を開催。また、同会にてエリア×バスタクの運行開始および北区デマンド交通運行計画変更を報告。	運行改定に向けて計画通り進められている。今後も運行改定の必要性が生じた際には、同意見交換会を速やかに開催し、改定が円滑に行われるよう取り組んでいく。